

令和3年度第3回光市行政改革市民会議【要旨】

開催日時 令和3年12月14日（火）

14時～15時15分

開催場所 市役所3階 大会議室1号、2号

1 部長あいさつ

皆様こんにちは。

本日はお忙しい中、会議にご出席いただきありがとうございます。

本日は、第2回目の会議でもご協議いただいた、「光市行財政構造改革推進プラン」と「光市公共施設等総合管理計画」についてご協議いただきたいと思います。

今年度は、コロナ禍により、様々な制限のもとでの会議の開催でしたが、皆様からはさまざまなご意見ご提言をいただいております。そのご意見等や行政経営室を中心に他部署と協議をした結果を踏まえ、現在の計画の形になり、本日皆様にお示しできる運びとなりました。これまで、計画のイメージや考え方が先行し、中身が分かりにくかった点もあったかもしれませんが、現在は非常に具体的な部分まで整理をすることができています。

この計画は、昨日市議会で報告をしておりますが、本日皆様にもご議論いただき、今後はパブリックコメントも実施しながら計画の策定手続きを進めていきたいと思っております。

皆様におかれましては、内容についてご議論ご協議をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

2 議題

(1) 光市行財政構造改革推進プラン（案）について中間報告

事務局による説明の後、各委員からご意見、ご提言を受けるとともに、意見交換を行いました。

【委員意見及び事務局回答要旨】

委員

28頁の「マイナンバーカードの普及と利活用促進」ですが、光市の普及率はどの程度なのでしょうか。

国が行うデジタル化と市が行うその目的は同じなのでしょうか。

事務局

11月末現在、光市の普及率は45%で、県内で5位という状況です。

事務局

デジタル化の大きな目的は、住民の利便性向上と行政運営の効率化ですが、それは国と市の共通の目的です。

国では、令和7年度を目途にガバメントクラウドとして各分野のシステムの統一

化・標準化を進めていますが、自治体はそのシステムに繋がっていくように取り組んでいます。例えば、今後光市で行うかは改めて検討していきますが、現在、書類申請で行っている飼い犬の登録は今後ガバメントクラウドで行うことも可能となるようです。

国と県、市で基本的な部分では足並みを揃えてデジタル化は進んでいくものと伺っています。

委員

窓口のデジタル化や市民通報アプリは具体的にいつ始めていくのでしょうか。

事務局

実施には予算が伴いますので、今後は予算ヒアリングの中で所管から提案を受け、協議後に導入ということになります。現時点で時期は決定しておりません。

委員

41 頁の取組項目「多様な勤務形態の推進」に関して、ワーク・ライフ・バランスですが、これは市役所職員についての取組でしょうか。私は塾の経営をする中で様々な生徒と話をしますが、共働きのご家庭の生徒からは、「もっと母親と接したい」や「家で親がいない中で夜遅くまで過ごすことは寂しい」、「ゲームなどをして過ごすしかない」という話をよく聞くので、是非、市の女性職員にとって働きやすい仕組みを整えて欲しいと思います。

事務局

仰る通り、市の組織内での取組となります。

事務局

働き方改革については多くの課題がありますが、テレワークの実証実験を行ったり、少しずつ研究も進めているところです。市の内部的なことと言えば、「光市人材育成・女性活躍推進計画」を策定中であり、委員さんが仰るような女性の働きやすさやワーク・ライフ・バランスに繋がっていくと思っています。

委員

光駅に関する事で、直接光市が解決できる問題ではないのですが、これまで、東京から最終便の「のぞみ」で光市に帰る場合、在来線で光に帰ることができていましたが、今年度の JR のダイヤ改正で下松駅停車となりました。また、以前は福岡から光市役所や光駅発着の高速バスの便がありましたが、現在は下松発着となっています。その点で下松市は先日発表された「住みよさランキング」でも上位に入っているのではないかと考えています。光市においては、コミュニティ交通の拡充が図られることになっていますが、市内のアクセスの充実も重要ですが、外とのアクセス、つまり徳山駅とのアクセスも同様に「住む」場所選びにおいての要素となるのではと思っています。

また、駅構内にエレベーターはあった方が良くないかと思っています。例えば市が JR に対して補助金を出してでもエレベーターを設置し、利便性の向上を図った方が良くないのでしょうか。ベビーカーを利用している方や大きな荷物を抱

えている方、高齢者等にとっての住みよさを考えると早めの解決が望ましいと思います。市の玄関となる駅が改善されると住みよさという観点から市内外にとって象徴的な事例となると思います。

事務局

JR のダイヤについてですが、1、2年前の改正で夜の山陽本線の光駅停まりのダイヤがなくなり、徳山駅着の新幹線の便を1つ早めなければならなくなりました。これについては、当時 JR に対して申し入れを行いました、良い結果となりませんでした。交通アクセスは重要ですので、少なくとも現状は維持できるよう、状況を注視しながら、声を上げていく努力はして参りたいと思います。

駅へのエレベーター設置の件ですが、そもそも駅の建替えのきっかけは高齢化が進む中で誰もが安全に駅利用ができるよう「バリアフリー化」を図る事ですので、エレベーターの設置は計画の中に含まれていると思っていますのでご安心ください。

委員

民間提案制度の内、ネーミングライツについては具体的な計画はあるのでしょうか。周南では麒麟ビバレッジ周南総合スポーツセンターがあつたり、柳井市や田布施町にも取組はありますが、内部的には何か計画があるのでしょうか。

事務局

民間提案制度には2種類実施方法がありますが、1つは市が事業内容を提示し、民間に提案をしてもらう手法と事業内容を限定せずに、民間から自由に事業内容を提案してもらう手法です。現在周辺市町で行われたものは全て前者の手法で行われており、今後光市においても、各所管と対象となる施設があるかの協議を行った上で、民間に対しネーミングライツの募集をかける流れになると考えています。

委員

光市はヨットが全国的に有名なので、ヨット施設に対して、ネーミングライツを大手スポーツメーカーに依頼してはどうか。

事務局

山口県の施設ですが、ヨット関連施設としてスポーツ交流村があります。県もネーミングライツ事業を実施していますが、現在交流村は事業の対象としていないようです。

(2) 光市公共施設等総合管理計画（改訂案）について中間報告

事務局が報告した後、各委員からご意見、ご提言を受けるとともに、意見交換を行いました。

【委員意見及び事務局回答要旨】

委員

資料2-2の1頁の減価償却率ですが、一般的に減価償却率は平成26年度から令和元年度にかけて増えていくものですが、「社会教育施設」と「保育・子育て支援施設」は減少しています。その理由は何なのでしょう。

事務局

「社会教育施設」は、室積及び大和コミュニティセンターが建て替わっていることが主な要因で、「保育・子育て支援施設」は、浅江東、浅江南及び大和保育園の耐震改修が行われたことにより、減価償却率が改善されました。

委員

資料2-2の4頁について2点あります。1点目に、全体的に除却や譲渡という記載となっておりますが、譲渡については、実現可能性があつての記載になっているでしょうか。実際では除却と譲渡では費用のかかり方が異なると思うのですが。

事務局

施設ごとに進捗が異なりますので、今時点で施設ごとの具体的な状況をお示しすることができませんが、進んでいるものもあればこれからという施設もあります。従って、実現可能性が確実なもの以外は「検討をしていきます。」という記載になっています。

委員

2点目に、市営住宅は住宅セーフティネットとしての機能が最も重要な機能であると考えていますが、必要としている方に必要な量を確保した上で、2割削減していくということなのでしょうか。

事務局

現在、「光市営住宅等長寿命化計画」を今年度末までに改訂しているところですが、その中で委員の仰る視点も踏まえ、精査した上で2割削減ということになっていきますので、公共施設等総合管理計画の市営住宅の方向性にも2割削減を目指す記載をしております。

委員

旧光市立病院ですが、解体するにしても相当な費用がかかると思いますが、具体的な方向性は決まっているのでしょうか。

新聞記事に、県から市に対する光ヶ丘高校の譲渡の話が断ったとありましたが、浅江中学校と浅江小学校を一貫校として建て替える話はどうなるのでしょうか。

事務局

病院については、解体には膨大な資金がかかることが予測され、今すぐに結論ができるという状況にはありません。現在病院局で方向性について検討中でございます。

光ヶ丘高校については、議会にも報告をいたしました。今後の財政事情等を考慮した結果、県に対して取得を断念した状況です。また、浅江中学校と浅江小学校の一体化を光ヶ丘高校跡地で行う話もありましたが、現在の浅江中学校と浅江小学校の状況で光ヶ丘高校跡地に生徒を移すと、教室の数が不足し、新たに教室を建設しなければならないという報告も、光ヶ丘高校の取得を断念した要因です。

3 その他

事務局から、今後のスケジュールについて事務連絡がありました。